

令和7年度 主要施策の成果報告（概要）について

令和7年度は町税や地方交付税など収入が大幅に増加した一方で、物価高騰や社会保障関係経費の増加などにより支出も増加した結果、依然として厳しい決算となりましたが、住民の皆様に最も身近な基礎自治体として、「人にやさしいまち」「楽しめるまち」「希望をもてるまち」をまちづくりの基本理念に、各施策を展開しました。

具体的には、大阪・関西万博に次代を担う子どもたちを無料招待し、未来の技術や文化に触れる機会を提供しました。また、物価高騰が長期化する中、子育て世帯の負担軽減を図るため町立小中学校の給食費や民間保育園等の副食費補助を実施したほか、全住民を対象とした1人5千円の地域振興券事業を実施するなど、日常生活の下支えと地域経済の活性化に取り組みしました。

さらに「安全・安心」「子育て・教育」分野を中心とした施策を拡充しながら、『第4次行財政構造改革プラン』に基づく改革を着実に進めるなど、将来にわたり持続可能な行財政基盤の構築に努めました。

●主要施策

1 防犯、防災

- ①特殊詐欺対策機器の購入（30台）・65歳以上の方への無償貸与 継続
- ②総合防災訓練の実施（住民参加人数：2,718人） 継続
- ③一般社団法人泉佐野薬剤師会と「医薬品等の備蓄に係る委託契約」を締結 NEW

2 子育て、保育

- ①妊婦のための支援給付事業（こうのとりギフト）（5万円×2回） NEW
- ②子育てに対する不安等を専門的な視点から支援する公認心理師を配置 NEW
- ③物価高騰に対する副食費補助金（町内民間保育園等7施設） NEW
- ④学童保育所を利用していない小学校3年生までを対象にした夏休みの子どもの居場所づくり事業 NEW

3 学校教育

- ①小中学校体育館の空調整備（全小学校：設置完了、全中学校：設計完了※R8で工事完了予定） 拡充
- ②不登校の児童生徒を支援する「教育支援センター」の開設日を週2日から週5日に拡充 拡充
- ③医療的ケア児が安全・安心な学校生活を送れるよう、在籍校に看護師を配置 NEW

4 生涯学習、運動・スポーツ

- ①図書館大規模改修にかかる設計委託（R8工事） NEW
- ②総合体育館非構造部材の耐震化や雨漏り対策等の大規模改修工事（R7～R8） NEW

5 高齢者福祉・地域福祉

- ①加齢による聴力低下への早期対応として、言語聴覚士による「聞こえの相談」と併せて、補聴器購入費用助成（22 件）を実施 **NEW**
- ②認知症の方とボランティアをつなぐ仕組みである「チームオレンジ」が活動を開始 **NEW**
- ③ふれあい元気教室修了者のうち、介護保険サービスを利用していない方を対象に、3 ヶ月後ケアマネジャーが生活機能を評価。基準を上回っていればケアマネジャーにインセンティブ（5 千円相当）を付与 **NEW**

6 道路・交通、下水道、公園

- ①ひまわりバス停留所をイオンモール日根野内へ新設するなどのルート変更及びバス停の新設を実施 **NEW**
- ②路面下空洞調査（10.2km）及び空洞補修（12 箇所）の実施 **継続**
- ③永楽ダム周辺道路吹付法面等修繕設計業務及び修繕工事を実施 **NEW**
- ④「熊取町道路舗装修繕計画」に基づく舗装修繕（3,834 m²） **継続**
- ⑤大阪岸和田南海線事業推進、大阪外環状線 4 車線化、泉州山手線事業化に係る要望活動の実施 **継続**
- ⑥公共下水道工事の実施（小谷、和田、朝代、新野田、山の手台地区など。令和 7 年度末人口普及率86.6%） **継続**
- ⑦令和 4 年度から進めてきた奥山雨山自然公園ハイキングコースの老朽化対策が完了 **拡充**
- ⑧令和 3 年度から進めてきた全都市公園の照明灯 L E D 化が完了 **拡充**

7 商工、観光・交流

- ①住民の生活支援、地域経済の活性化を図る地域振興券事業（5 千円/1 人）
- ②「産業活性化基金事業補助金」を活用した事業者の支援（84 件補助金活用） **継続**
- ③「和田山 Berry Park」の運営支援（ブルーベリー狩り体験に 632 名来訪）、ブルーベリー農園の運営事業者や飲食店と連携したブルーベリーを使った特産品の開発（ブルーベリーを使った特産品は新たに 4 品を「くまとりやもん♪」に認定。令和 7 年度末時点 28 品。） **継続**

8 情報の公開、シティプロモーション

- ①タウンミーティングの開催（小学校区単位で 5 回開催） **継続**
- ②公式 LINE 登録者数増加に向けた取り組み（R8.9 末時点 10,199 人） **継続**

●各会計別決算状況

1 一般会計

歳入総額（A）	169 億 450 万 6,122 円
歳出総額（B）	168 億 1,119 万 1,880 円
翌年度繰越財源（C）	4,130 万 6,249 円
実質収支額（D）	5,200 万 7,993 円 【（A）－（B）－（C）】

2 特別会計

	歳入総額（A）	歳出総額（B）	実質収支額 【（A）－（B）】
国民健康保険事業	44 億 6,606 万 6,652 円	44 億 5,792 万 5,726 円	814 万 926 円
後期高齢者医療	10 億 3,996 万 8,768 円	10 億 3,478 万 3,110 円	518 万 5,658 円
介護保険	41 億 7,471 万 7,311 円	41 億 6,492 万 6,532 円	979 万 779 円
墓地事業	2,512 万 3,561 円	2,512 万 3,561 円	0 円

3 公営企業会計

下水道事業会計

総収益（A）	11億6,094万6,112円
総費用（B）	10億6,515万7,459円
当年度純利益（C）	9,578万8,653円 【（A）－（B）】
その他未処分利益剰余金変動額（D）	1,755万 円
当年度未処分利益剰余金（E）	1億1,333万8,653円 【（C）＋（D）】